

2017年 3月 13日

各 位

株式会社ジェイ・エム・エス
代表取締役社長 奥窪 宏章
(コード番号 7702 東証第1部)

すいかんふんごう
膵管吻合補助器「JMS インナーシュアーエース®」を製品化

～産学官連携により、機能性と操作性に優れた手術補助器を共同開発～

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：奥窪 宏章、以下「ジェイ・エム・エス」）は、国立大学法人山口大学（所在地：山口県山口市、学長：岡 正朗、以下「山口大学」）と株式会社ミヤハラ（本社：山口県周南市、代表取締役：松原 忠彦、以下「ミヤハラ」）との産学官連携事業により、膵管吻合※補助器「JMS インナーシュアーエース®」を共同開発しましたので、お知らせいたします。

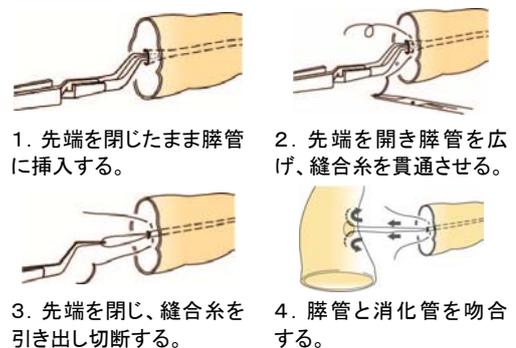
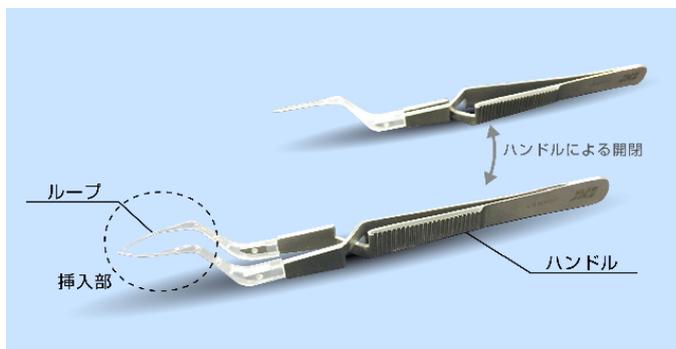
膵臓（すいぞう）や肝臓を切除する消化器外科の手術では、直径数ミリの膵管や肝管を胃や腸などの消化管に吻合する高度な技術が必要とされます。吻合不全が発生すると、重篤な合併症を起こすリスクが高いことから確実な吻合の実現が課題となっています。

この度の開発製品は、山口大学医学部が考案した膵管の新しい吻合方法に使用する医療機器で、ジェイ・エム・エスとミヤハラが両社の技術を持ち寄り研究開発に取り組み、また山口県による「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の助成を受けて実用化しました。

合併症を起こすリスクを低減するためには、複数の縫合糸で確実に吻合する必要があります。「JMS インナーシュアーエース®」を使用する新手法は、1回の針の貫通で2回分の縫合糸の設置が可能のため、従来法と比較して、より安全で迅速な吻合を実現します。

※吻合：管状・袋状の臓器を互いに手術でつなぎ合わせること

膵管吻合補助器「JMS インナーシュアーエース®」



【特長】

- ・手元（ハンドル）側はステンレス製で医師の手に馴染む重量・重心設計。
- ・先端（挿入部）側は樹脂製で臓器を傷付けないよう細く柔軟性がありながらも、縫合糸を引き出す強度を保持。
- ・伝達ロスを最少にした、ステンレスと樹脂の接続設計がより正確な操作性を実現。
- ・手術部位の視野を妨げにくい独自の形状設計。

【製品情報】

販売名	医療機器認証番号	クラス分類
JMS インナーシュアーエース	228AABZX00118000	管理医療機器(クラスⅡ)

【開発関係企業等の概要】

企業等	山口大学	(株)ミヤハラ	(株)ジェイ・エム・エス
代表者	岡 正朗	松原 忠彦	奥窪 宏章
住所	山口県山口市	山口県周南市	広島県広島市
資本金等	162 億円	1,200 万円	74 億 1,101 万円
事業内容	教育・学術研究機関	各種自動化機械製作等	医療機器製造販売等
事業化における役割	吻合補助器の基本設計、臨床研究等	本体ピンセット部の製造等	樹脂製先端部設計、認証申請、製品の製造・販売等

*「インナーシュアーエース」は、株式会社ジェイ・エム・エスの登録商標です。

ジェイ・エム・エスは、「医療の安全」、「医療の効率化」、「再生医療」、「医療を必要とする方の QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上」をテーマとして製品の開発に取り組んでおります。当社は、これまで蓄積してきた医療機器開発のノウハウを活かし、また世の中の優れた技術や知識を持つ企業や大学等と協力しながら、安全・安心で品質の高い製品を開発し医療の現場へお届けすることで、これからも人と医療に貢献してまいります。

以上

お問い合わせ先： 経営企画部 TEL 082-243-9059 / FAX 082-243-5924

本リリースに掲載されている将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、社会情勢の大きな変化などさまざまな潜在的リスクや不確実性が含まれております。当情報につきましては発行日時点のものであり将来的に変更される可能性のあることをご承知おき下さい。